

高度医療・人材育成拠点（新病院）

基本構想

令和4年11月16日

広島県

広島県の医療体制の現状・課題(主なもの)

- がんと心疾患の死亡者数は増加傾向
- 無医地区数は, 全国ワースト2位
- 若手医師が減少
- 救急搬送困難事案の割合が高い
- 医師の働き方改革が迫る
(2024年4月～)
- 急性期病床は過剰, 回復期病床は不足

課題を引き起こす2大要因



医師不足

多くの症例が集まる首都圏に若手医師が流出

医療資源の分散

病気やけがの治療を一つの病院だけで完結し役割分担が不明確

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議

広島都市圏病院長会議

【構成機関】19施設＋行政

広島大学病院
県立広島病院
広島市立広島市民病院
広島市立北部医療センター安佐市民病院
広島市立舟入市民病院
広島赤十字・原爆病院
広島記念病院
吉島病院
済生会広島病院
マツダ病院
中電病院
JR広島病院
荒木脳神経外科病院
一ノ瀬病院
五日市記念病院
シムラ病院
翠清会梶川病院
土谷総合病院
広島がん高精度放射線治療センター(HIPRAC)
広島市
広島県

【構成機関】21機関

広島大学
一般社団法人広島県医師会
一般社団法人広島市医師会
一般社団法人広島県病院協会
地方独立行政法人広島市立病院機構
日本赤十字社
国家公務員共済組合連合会
マツダ(株)
中国電力(株)
医療法人JR広島病院
特定医療法人あかね会
医療法人光臨会
医療法人翠清会
医療法人清泉会
社会医療法人清風会
社会福祉法人恩賜財団済生会
一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン広島支部
ここすまネット
公益財団法人広島県地域保健医療推進機構
広島市
広島県

分科会(11)

救急

小児

周産期

がん

脳血管

心疾患

精神

感染症

災害

DX

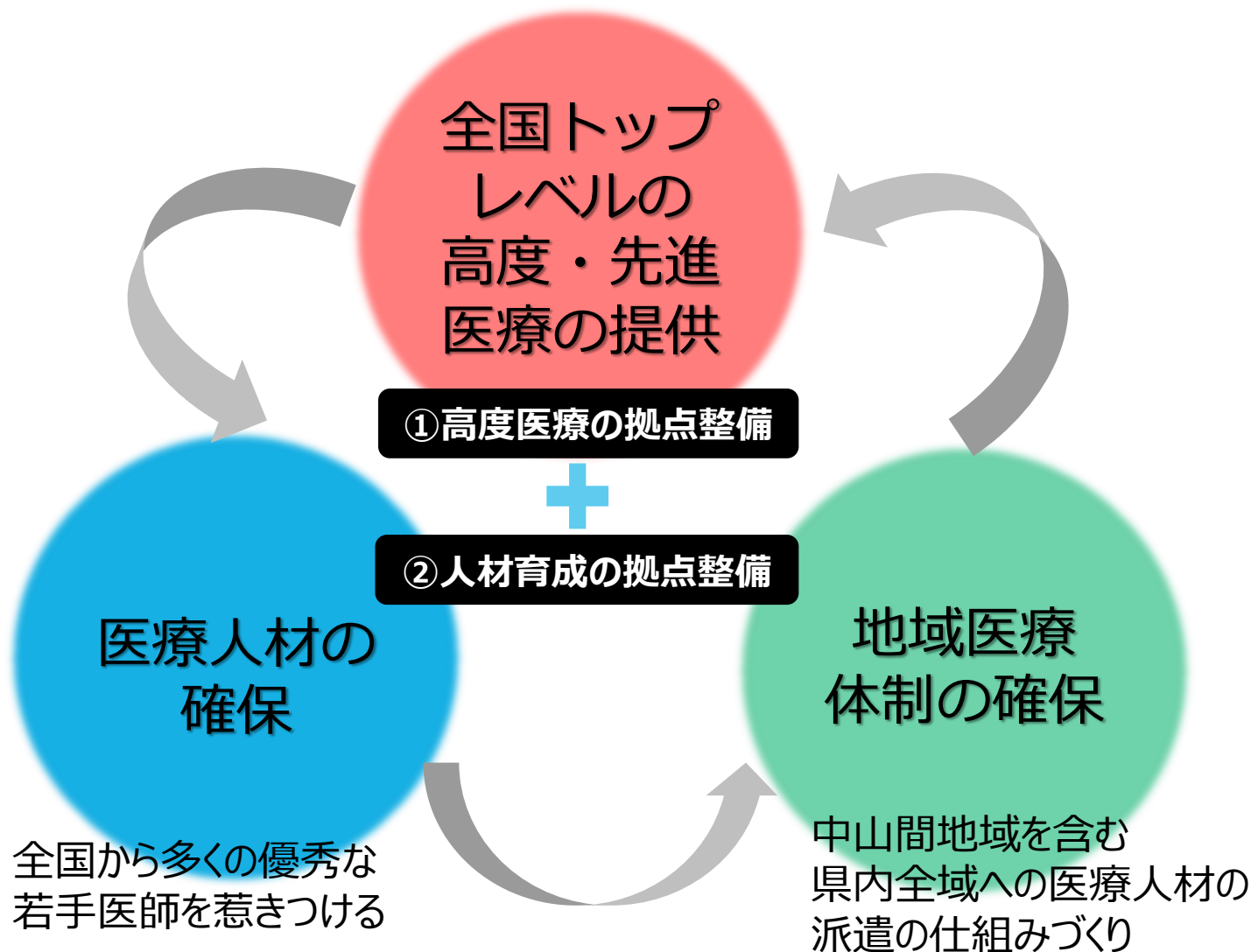
地域医療

基本構想の位置付け

今年3月に広島県地域保健対策協議会から提言のあった「高度医療・人材育成拠点ビジョン」を踏まえて、この拠点に必要な医療機能や広島都市圏における医療機能の分化・連携・再編の方向性及び医療人材の確保・育成・循環の仕組みについて、県の考え方を示したもの。



高度医療と人材育成の拠点整備による目指す姿



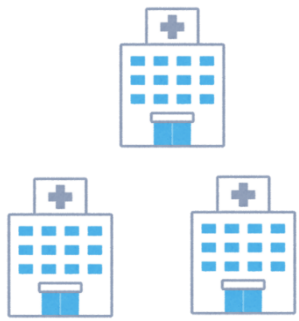
目指す姿が実現されると・・・

- 症例が集積され、経験値が高まることで治療成績が上がり、高度医療を提供できる。
- 多くの症例を経験できる環境を整備することで、県外から医師が集まる。
- マンパワーの充実により、救急患者の応需率が高まる。
- マンパワーの充実により、新興・再興感染症への対応力が高まる。
- マンパワーの充実により、医療従事者の負荷が減る。
- 医療機能の分化・連携により、切れ目のない質の高い医療を提供できる。
- 広域的な人事交流により、医師の偏在解消が図られる。

症例が集積された新病院整備と人材確保

【STEP1】

医療資源の集約, 症例の集積により, 高度医療が実践される新病院を造る



新病院

→ 広島大学病院と協力し、
高度医療を実践

【STEP2】

魅力的な新病院に
若手医師が集まる



→ 若手医師は
多くの症例を経験できる
医療機関に集まる

症例が集積された
新病院をすることで...

【STEP3】

マンパワーの充実による
救急応需率の向上等,
課題の解消

医師が集まることで...

新病院の医療機能

広島大学病院との連携による全国トップレベルの高度・先進医療

- 二次輪番病院のバックアップ及び三次救急の基幹病院として救命救急に対応し、“断らない救急”を実現
- 中国地方初のER機能を併設した「小児救命救急センター」
- 生殖医療から周産期，新生児，小児まで一貫した「成育医療センター」
- 最新の低侵襲手術など，集学的治療を提供する「がん治療センター」
- 脳疾患や循環器疾患に対応する「脳卒中センター」，「心臓病センター」
- こどものこころの諸問題に対応する「児童・思春期病床」
- 新興・再興感染症拡大時に機動的に対応できる体制
- 「基幹災害拠点病院」としての貢献
- ICT技術を各領域で横断的に活用する「次世代スマートホスピタル」

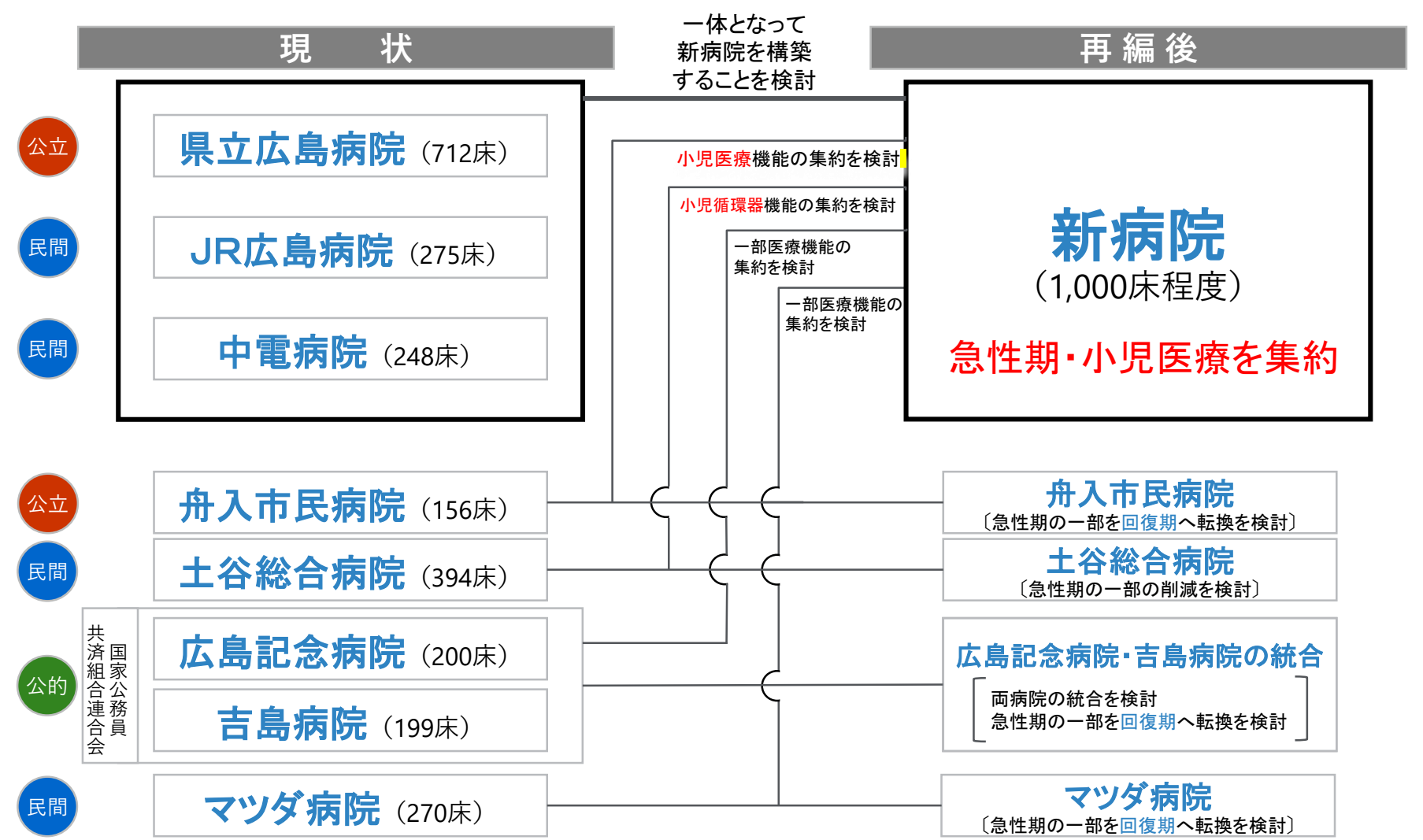
機能分化・連携による地域完結型医療



- ◎ 政策医療(救急・小児・周産期等)
- ◎ 高度医療(がん・循環器病等)
- ◎ 医師を惹きつける症例数
- ◎ 魅力的な研修プログラム
- ◎ 広島大学病院と連携

広島都市圏における病院再編案

急性期を集約して回復期を増床



広島都市圏における病院再編案

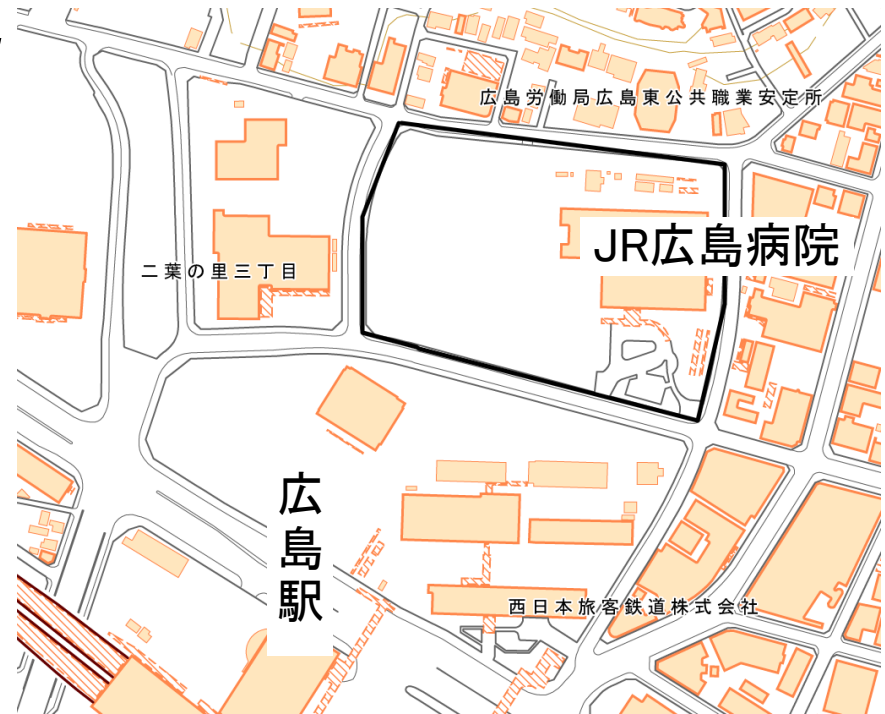
- ※ 今後、新病院に集約する医療資源について再編対象病院と議論を深め、診療科の編成や必要な医療機器などを盛り込んだ基本計画を策定する。
- ※ 実際に新病院ができるまでは、JR広島病院、中電病院それぞれ、引き続き医療を提供していただく。
- ※ 医療機関の再編の影響が予想される地域については、地域完結型医療を補完する身近な医療機能等の整備を検討する。

新病院の整備予定地

交通便利性の高い広島駅北口(県内外から集患)

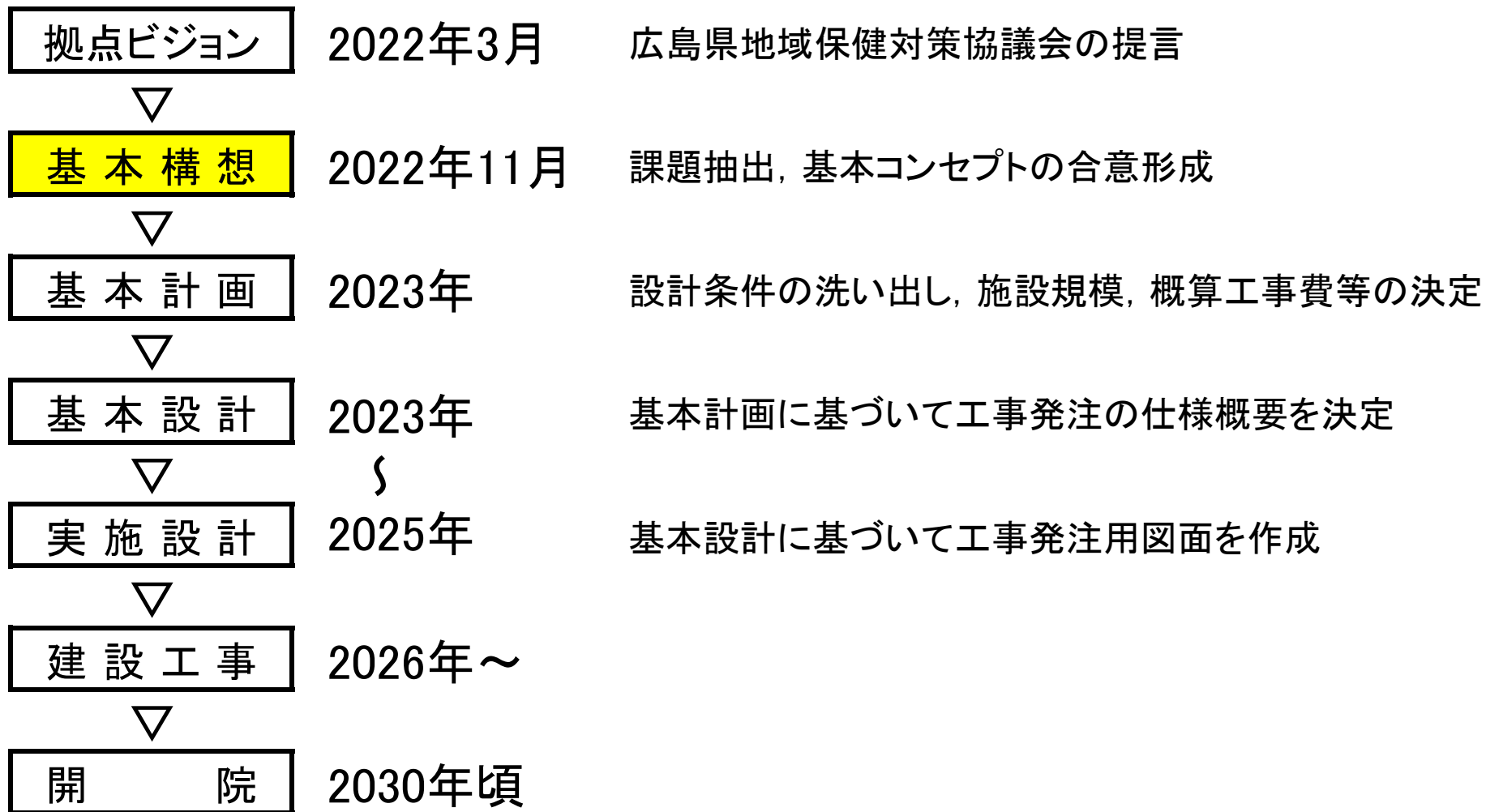
整備予定地: 広島市東区二葉の里

病床規模: 1,000床程度



※新病院の運営形態については、「運営形態のあり方検討会」からの提言を踏まえ、新病院にふさわしい運営形態を引き続き検討していく。

新病院の建設スケジュール(現時点の想定)



ネットワーク型人事交流

- 病院群のネットワークの中でローテートしながらキャリアアップ
- 人事情報(ニーズ&シーズ)を収集・共有して効率的にマッチング



既存の取組みに加え、新しい配置調整の仕組みづくり、キャリアアップ支援や生活支援など

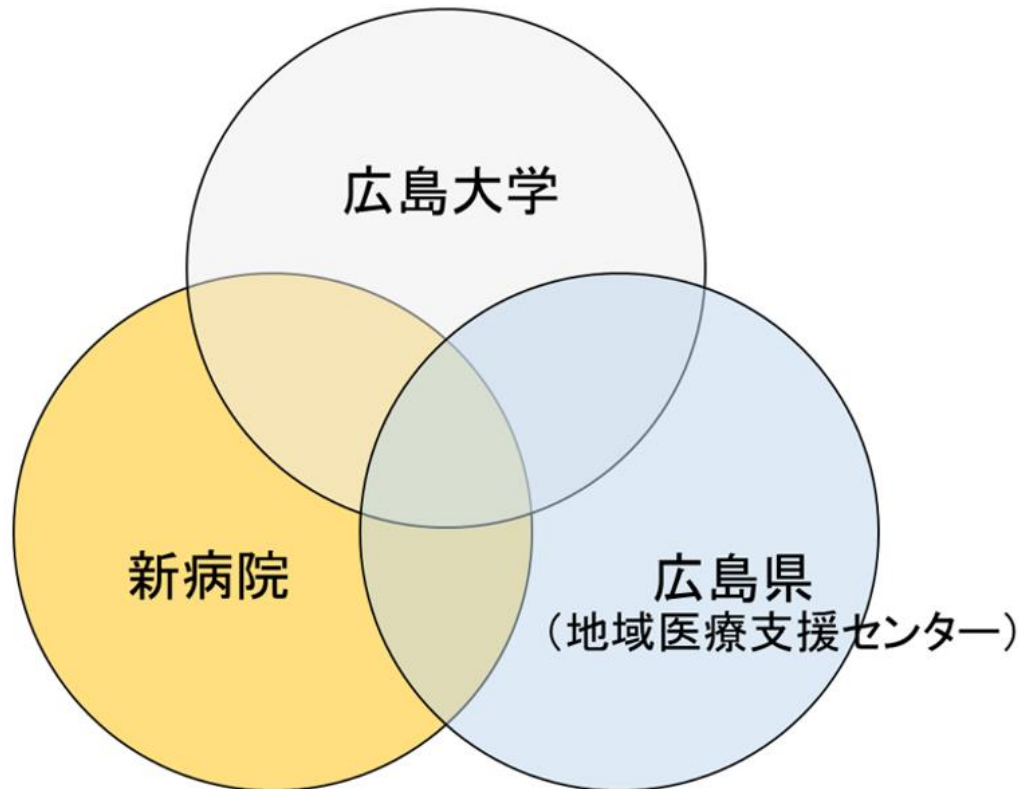
[広島県北西部地域医療連携センター]

広域の研鑽・研修・人的交流



医療人材育成の拠点整備

広島大学，新病院，広島県が連携して
医療人材を確保・育成・循環（派遣）



- 大学医局員の医師
- 自治医科大学卒業医師
- 大学医学部地域枠の医師
- 県奨学金受給医師
- 臨床研修医

医療人材育成の拠点整備

【人材の確保】

- 豊富な症例数や専従の指導医の配置など**魅力ある研修体制**の整備
- **ライフステージ, ワークライフバランスに配慮**した勤務場所や勤務形態
- **女性医師** 等が働き続けることができる環境の整備

【人材の育成】

- **総合診療医**の育成

【人材の循環】

- **人事情報(ニーズとシーズ)の集約・共有**による効率的なマッチング
- 地域内の医師等の交流や共同研修など**相互協力体制**

まとめ

(1) 高度医療の拠点整備と医療機能の分化・連携により、

高い水準の医療 と患者の状態に応じた
切れ目のない医療 を提供します。

(2) 人材育成の拠点整備により、

医療人材を確保し、**県内の地域医療提供体制を確保**
します。



全ての県民が、質の高い医療・介護サービスを受け
ることができ、住み慣れた地域で安心して
暮らし続けることができる広島県の実現